

課題 1

【出題の意図と対策】

樋口^{ヒグチ}裕一^{ユウイチ}氏の『18歳^{18さい}から100歳までの日本の未来を考える17のキーワード』からの出題である。出題した文章は、「日本の食生活の変化とその影響^{えいきやう}」を述べた章で、前半では、外食や総菜ばかりの食生活だのような問題があるかということ、後半では家族で食事をすることの重要性を中心に述べている。(1)では、本文に使われている「子」という言葉を使つたことわざの知識を答える。(2)では、ほとんど毎日外食することと引き起こされる問題点をまとめられるかを問うた。(3)では、食生活というものは家族の中でどのような影響があるのかを読み取る力、(4)では「その傾向^{けんこう}」が指し示した内容を字教内にまとめる力、(5)では食生活の改善と働き方をつなげて、問題文に合うように説明する力を試した。

【解答】

- (1) (例) かわいい子には旅をさせよ
(親の心子知らずなども可)
- (2) (例) 栄養が偏つて肥満になりやすくなり、生活習慣病のリスクが高くなるという問題。
- (3) (例) 家族で食事をするときにコミュニケーションをとることで自己形成するから。
- (4) (例) 食事で家族とコミュニケーションをとる時間があまりない傾向。
- (5) (例) 食生活の改善には家族と食事をする時間を作ることも重要である一方、現代は共働きや長時間勤務をする人が多くなり家族で食事できる機会が減つたから。

【解説】

- (1) 「かわいい子には旅をさせよ」は、子をかawaiiと思うならば成長のためにあえて苦しい経験をさせよ、という意味。「親の心子知らず」は、親の深い愛情を知りもせずに、子どもは好きに行動している、という意味。
- (2) 第三段落以降に着目する。「外食にすると、どうしても栄養が偏りがちになる」と始まり、そこからデメリットについて述べられている。栄養が偏りがちになると「カロリーの高いものが主体」になるために肥満になりやすいと説明されている。そして、第五段落に「栄養バランスが偏り、生活習慣病のリスクが高まることになる」ともある。栄養バランスが偏ると肥満に陥りやすくなり、肥満になると生活習慣病のリスクが高まることを順におさえてまとめていく。
- (3) 傍線部の直後から理由をとらえる。「家庭というのは、社会の基本単位」であり、そこで「影響をうけながら育ち、自己を形成していく」とある。こういった過程を経て成長するため、食生活が変化すると「家庭内の人間関係や子どもの成長にも影響を与える」のだということを読み取る。
- (4) 指示語が指す内容を探すときは、まずは前の文章に着目するといふ。「朝食についてはその傾向が強い」ので、どのような傾向が強いのかを読み取る。指示語がある直前の文に「現在、家族とコミュニケーションをとりながら食事をする時間があまり取れないという人も少なくない」とあり、この「傾向が強い」と続くことをおさえる。あとは字教内でまとめる。
- (5) 「なぜ食生活を改善するために働き方を変える必要があるのか」と問われているので、解答の後半は働き方を変える必要がある理由でしめくくるとまとめやすい。解答の前半には、食生活を改善するため「家族と食事をする時間を作ること」が重要である、ということをおさえてまとめていく。

課題 2

【出題の意図と対策】

小学校で読んだ可能性の高い作品のあらすじから、問いに合わせた内容で自分の考えをまとめていく。作文の条件を読み取る力、読み手のことを考えて相手に伝わりやすい文章を書く力、指定条件を盛りこんで字教内にまとめる力、自分の経験や考え方などを総合的にまとめられているか、などをみる。

【解答】

(例) このきつねは食べ物を届けるだけで言葉を使つてあやまることができなかつたので、思いを伝えられなかつたのだと思います。私ならもし相手に対して悪いことをしてしまったと感じたなら、なるべく早く相手に「気持ちのこもつた言葉」であやまります。そしてその気持ちを相手に分かってもらえるように、相手の目を見て真剣に話すように気をつけます。たとえこわい相手だつたとしても真剣に話せば思いを伝えられると思うからです。

【解説】

あらすじをふまえて、「思いが伝わらないこと」がないよう、「気をつけていること」についてまとめる。

課題 3

【出題の意図と対策】

日本の米づくりに関する複数の資料を題材として、資料から読み取った内容に関連づけて説明する力、社会的事象に対する思考力や判断力、表現力をみる。

【解答】

- (1) (例) (地図中のアから) 西に向かつて約200m進むと警察署があるので、その交差点を南に曲がつて約400m直進すると目的地の図書館に着く。
- (2) 資料1から読み取ったこと
(例) 米の国内消費量は年々減少している。
資料2から読み取ったこと
(例) おにぎりやお弁当への支出金額は増加している。
資料1と資料2から推測できる日本人の米の消費
(例) 米の国内消費量が減っているが、おにぎりやお弁当への支出金額は増加していることから、家で米をたかないで、手軽なおにぎりやお弁当を買つて食べる人が増加しているのではないか。
- (3) (例) 農家は、おにぎりなどに向いているブランド米の生産を増やし、国内だけでなく海外への輸出を視野に入れて、品種改良(外国の人の好みにあつた品種)やさいばいの工夫をして、米を使つた商品などの生産はん売も行う。

【解説】

- (1) 地図中のアの地点から、図書館(田)までのコースを方位と距離、地図記号を使つて説明する。
- (2) 資料1と資料2から読み取れることをもとにして推測する。
- (3) 資料3や資料4より、日本の米が海外で注目されていることなどから、具体的な方法を考える。